

2017年1月18日

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 0 9 1 9

『プロプラノロール塩酸塩錠10mg「日医工」』 のオーダ開始について

高血圧・狭心症・不整脈・偏頭痛治療剤『プロプラノロール塩酸塩錠10mg「日医工」』（日医工）は、薬事委員会にて、「インデラル錠10mg」（アストラゼネカ）と交換採用となりました。

平成29年1月18日（水）より『プロプラノロール塩酸塩錠10mg「日医工」』のオーダを開始し、「インデラル錠10mg」は当院取り扱いを中止（院外処方可）します。

	オーダ開始	院外専用医薬品へ
オーダ名	プロプラノロール塩酸塩錠10mg「日医工」	インデラル錠10mg
成分名	プロプラノロール塩酸塩	
規格	10mg／錠	
適応症 用法・用量	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>本態性高血圧症（軽症～中等症）</u>： [成人] 1日30～60mgより投与をはじめ、効果不十分な場合は120mgまで漸増し、1日3回に分割経口投与。年齢、症状により適宜増減。 ・ <u>狭心症、褐色細胞腫手術時</u>： [成人] 1日30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mg、90mgと漸増し、1日3回に分割経口投与。年齢、症状により適宜増減。 ・ <u>期外収縮（上室性、心室性）、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動（徐脈効果）、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防</u>： [成人] 1日30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mg、90mgと漸増し、1日3回に分割経口投与。年齢、症状により適宜増減。 [小児] 1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分割経口投与。年齢、症状により適宜増減。効果不十分な場合には1日4mg/kgまで増量可、1日投与量として90mgを超えないこと。 ・ <u>片頭痛発作の発症抑制</u>： [成人] 1日20～30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mgまで漸増し、1日2回あるいは3回に分割経口投与。 ・ <u>右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制</u>： [乳幼児] 1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分割経口投与。症状により適宜増減。効果不十分な場合には1日4mg/kgまで増量可。 	
外観写真		
区分	処方／共通 平成29年1月18日（水）より オーダ開始	処方／院外 平成29年1月18日（水）より 院外専用医薬品へ

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。